

第3次鈴鹿市男女共同参画基本計画策定について

① 第2次基本計画の検証から

○成果指標:男女共同参画意識の普及度

目標 75% ⇒ 現状 74.6%(前回(2018年度)調査時 65.5%) 確実に向上
依然として市民1/4に性別による固定的役割分担意識が残る結果
市内全域に広く男女共同参画意識を浸透させる取組が必要

○成果指標:男女比率が適正な審議会等の割合

目標 70% ⇒ 現状 63%(女性の登用率 44.6%まで上昇)
自治会活動や政治分野などあらゆる意思決定の場において男女共同参画を
更に進める取組が必要

② 市民アンケート調査の結果から

○男女の地位の平等感について

家庭・職場・学校教育・地域の各分野で前回調査より向上するも、
職場は3割を下回っており、民間事業者への男女共同参画を進める取組が必要

○女性の職業への関わり方について

結婚や子どもの有無に関わらず、職業を持ち続けることが望ましい:42.3%に増
育児休暇・介護休暇等を取得しやすい職場環境が求められている
就労における男女格差の解消、育休等制度の普及など、女性の就業支援を
更に進める取組が必要

③ 鈴鹿市男女共同参画審議会の提言(第2次基本計画年次報告書)から

- ・女性委員のいない審議会の解消
- ・産業分野への効果的な啓発, 民間の実態把握
- ・経済団体等との連携による男女格差解消
- ・地域における自治会役員等の女性登用の効果的な啓発・支援の強化
- ・家庭における男性の家庭参画を促進する工夫
- ・防災分野における男女共同参画の更なる推進(避難所等への女性の視点) など

第3次基本計画では

庁内WG(専門部会)で事業の見直し

アドバイザーの助言, 市民アンケート調査結果, 審議会意見を反映

成果指標及び重点課題・重要施策の設定(見直し)

【成果指標】 男女共同参画意識に関する普及度 目標値:75 %
男女比率が適正な審議会などの割合 目標値:70%

【重点課題】 あらゆる分野における男女共同参画の推進

【重要施策】 就労における男女共同参画
地域における男女共同参画

↓

【成果指標】 男女共同参画意識に関する普及度 目標値:76 %

【重点課題】 あらゆる分野における男女共同参画の推進

【重要施策】 意思決定の場における男女共同参画
就労における男女共同参画